

5

2003.6

(社)日本作業療法士協会広報誌

オペラ

Opera

青年海外協力隊

異文化の中で作業療法を通じて
学んだかけがえのないもの
in 中華人民共和国



レツ・クリエイト
風船バレー ボールで
第二の人生をひらく

SNAPSHOT

精神障害者の
就労支援はいま
どうなつていてる?



特集 スペシャル対談 板野遵三郎さんを迎えて
増加する脳外傷者家族は、
医療は、行政はどう応えるか？



～シリーズ～

- 生活支援のアイデア
- いっぱいの福祉用具
- 片手でやってみよう

■ 脳外傷で記録力・集中力をなくす

■当事者と家族への支援はこれから
一人暮らしを支援するプログラム

脳外傷による高次脳機能障害のケア 家族は、医療は、行政はどう応えるか？

今回対談のお相手、板野遵三郎さんは、脳外傷友の会「ナナの会」東京地区会の世話人代表である。

まず脳外傷とは何かを簡単にまとめておきたい。

頭部に激しい衝撃を受けると脳組織にまで損傷がおよぶことがあるが、一番多いケースは交通事故によるものだ。救命医学の進歩で一命は取りとめても脳組織が損傷を受けると、運動麻痺、失調症、言語障害、意欲障害、性格変化、情緒障害などのさまざまな障害が発生し、その人の人生および家族に深刻な影響を与えるにいたる。脳外傷の後遺症の中でも高次脳機能障害は社会参加を難しくしている。たとえば直前のこととも忘れる記憶障害、集中力や意欲の障害などだ。また、衝動性、情緒不安定、幼児的言動などは良好な人間関係や社会への適応を困難にしている。現在、障害者福祉施策は障害を、身体障害、知的障害、精神障害の3つに分けて実施されている。高次脳機能障害は、このどれにも当てはまらない場合も多く、脳外傷者を取り巻く環境には厳しいものがある。

(※1)

1997年に神奈川県綾瀬リハビリテーションセンターを利用した脳外傷者の家族を中心に「脳外傷友の会・ナナ」結成。2000年4月には国内各地の脳外傷友の会が賛同を結び、「日本脳外傷友の会(JTBIA)」発足。初代会長には前ナナの会代表の東川悦子氏が就任する。JTBIAは国際脳損傷協会に加盟し、2001年イタリアで開催された第5回国際脳損傷協会世界大会に参加した。今年の9月13日、14日 JTBIA 第3回総会を開催(札幌大会)予定。詳細は、JTBIA発行の「Q&A脳外傷——本人と家族のためのハンドブック」参照。



ス ペ シ ャ ル 対 談

板野 遵三郎 × 杉原 素子
IUNZABUROU ITANO MOTOKO SUGIHARA



が圭作をはねて頭を打ったんです。救急で入った病院では2ヶ月ぐらい意識がなくて、9月の連休の頃にやっと言葉が出だしたんです。車いすに乗れるようになって、神奈川県厚木市七沢にある神奈川県総合リハビリテーションセンター（神奈リハと略記）に移り、ここに約8カ月入院してました。入った



脳外傷で記憶力 集中力に障害を受ける

杉原 息子さんが事故に遭われて現在にいたるまでの経過をお話しいただけますか。

板野 昭和59年3月、当時小学校5年生だった圭作が、イヌの散歩中に車の衝突事故に遭いまして、そのうち一台

当初はやっと車いすに乗れる程度だったんですけど、退院時にはなんとか歩けるまでに回復しました。理学療法2時間、作業療法、言語療法、心理が各1時間と毎日5時間のスケジュールでした。

かつたですね。養護学校へは電車で一時間以上かかるのですが、一人で通つてました。

杉原 作業療法ではどんなことをなされたのですか。

夕関係の会社に受かり、入社しました。はじめの上司が理解のある人で、2年目に会社から都の開発センターのワープロ講習に行かせてもらいました。でも、その後上司が変わってからはクレームが増えてきて、指摘される事はもつともな事ばかりなんですね、5年目になりました。

ガ手みたいで、オセロのよ
うなゲーム感覚のものだ
と喜んでやってたんですけど
どね。言語と心理は同じ先
生で、やっぱりゲーム性の
ものを喜んでやっていたよ
うです。

その後は区の授産施設の工房に通うようになります。仕事を始めて10年になりますから、そろそろ次を考えてやらないといけないなと思

ZAB 杉原 退院後学校はどうされましたか。

つっています。ただ記憶力と集中力がな
いため、工房でも問題を起こしてゐる
のです。

桜里　小学6年生にして6年生に進級しました。

杉原　圭作さんは毎日どんな生活を送っていたのですか。

してましたが、公立の中学校に入つてからは送り迎えはしていません。廊下や階

板野 土日以外は毎日工房に通つて、夕方帰つてきた後は自分の部屋にいます。休日も自室にこもつてゐる事が多い。

段に手すりをつけてくれるなど、中学では気を使ってくれましたね。でも学

ですね。パソコンをじゅうたんしますが、とても文章を作るほどではなくて、す

力的にもついていくのがなかなか難しくて、高校は養護学校に入りました。杉原 事故に遭う前の圭作さんはどう

ぐ飽きて投げ出してしまいます。週に一度障害者用のプールに行かせてますが、気が進まないようで30分ぐらいで帰つ

んな男の子だったのですか。
板野 わりと出来は良かつた方だと思います。優等生タイプで運動も脚が速

てきてします。フラッシュ一人で散歩
に出て喉がかわくジュースを買った
ります。目先の欲しい物にだけお金

を使う感じで千円ぐらいは持たせて

ますが、ショッピングは無理みたいですね。

買いたい物を記憶できなしし、メモす

ること自体も忘れてしまうんです。そ

んな状況ですから母親は今でもよく

叱るんですけど、私はそんなに叱つて

も仕方がないなと。せめてお互い語り

合える友だちでもいれば、少しは違つ

てくると思うんですけど、ないんですね。

小学校で1年留年させたのが原因か

なとは思つてるんですが、それ以来つ

きあいがないんです。

杉原 30歳近くにならっていますが、

これまでにこういう支え方をしてあげ

たらよかつたと思われるような事はあ

りませんか。

板野 まず親が、いい所を見つけて褒

めてやらないといけないんですけどね。

ついでない所を見てしまって、なん

とか褒められる所はないかと思うので

すが、それが出来ないのが現状で……。

少しでもいい所を見つけて伸ばしてや

れたらと。それには家族だけでなく、

周りの人も含めて励ますような方向

にもつて行けたらなと思います。

杉原 優秀なお子さんが突然、脳外傷

になつたことを受け入れるまでには、

相当悩まんだんじやないかと思いますが。

板野 急性期から入院してリハビリ

をやつていた期間は、そのうち良くな

るだろうと思ってやっていたから良か

ったのですけど、だんだん回復の見込

みが立たないというふうになつてきた

んです。就職して1～2年は上司にも

恵まれて安心していたら、クレームがつき始めたんですね。

いま反省することは最初にクレーム

がついた段階で、いろいろ相談して対

策を立てるとかステップを踏むべきだ

ったなとは思います。大変だと分かっ

たときには、神奈リハのソーシャルワ

ーカーに会社とかけ合つてもうつたり、

会社の人を神奈リハに呼んでいろいろ

対策を考えたんですが、最終的に会社

では難しいとい

う事になつたん

です。もっとその

前に相談すべき

だつたなと思ひ

ます。

在50人弱の会員がいます。「ナナの会」

全体では250人位です。現在神奈リハで、

病院内に協働事業室というのを作つて

もらつて活動しています。会報の発行、

家族の勉強会、当事者の交流会、セミ

ナーなどを開き、脳外傷の家族の全国

組織とも連携し活動しています。

具体的に社会に対してどんな支援

の仕方を望むかは、いろいろなケース

があつて概に言えません。仕事中のケ

ガから復職する

場合とか、うちに

みたいに就職させたい家族のた

めに就労先を見つける支援をし

てくれるとか、とにかく歩ける

ようになるだけでもいい、とかい

ういふですね。

杉原 脳外傷には見かけは普通

と変わらない人

もいるし、脳外傷そのものが一般には

理解されませんね。

板野 同じ高次脳機能障害といつても

年を取つてから脳卒中の後遺症になつ

た人、子どものときになつた人、先天的

に障害を抱えているなど全部違うわ

けです。いろいろなケースを聞いてみ

ると、どういう支援をしていつたらい

いか本当に迷いますね。いま東京都では、

高次脳機能障害のさまざまな当事者

団体が高次脳機能障害連絡協議会と

いうのを作ろうとしています。

杉原 いろいろなケースに即してその

人の能力にあつた支えが出来てゐるか

結果をどう社会に受け止めてもらえ

るかとなると……。私の会社も障害者

の雇用については考えなければいけな

い点があります。

杉原 たとえば海外での脳外傷者の

支援の仕方などを聞かれて、どう思わ

れますか。

板野 たとえば、イギリスは医療と地

域が緊密に連携していく上手に機能

させてますね。アメリカの場合は脳外

傷者のQOL（生活の質）を維持する

ために、地域で援助していくことが認

識されているそうですね。

板野 うにお考えですか。

板野 うちは幸い身体障害者手帳を

もらつてるのでですが、高次脳機能障害

は精神科の範疇で身体障害者手帳の

適用外になるんです。そんな垣根は取

つ払つてなんでも障害があればいろ

うなサービスが受けられるようになれ

ばいいと思います。それから脳外傷者

が活動するための施設を地域と協力

して作れたらいいですね。脳外傷者に

●特集 増加する脳外傷者のケア。家族は、医療専門家は、行政はどう応えるか?

INTERVIEW

対する社会的な理解を深めることもこれから課題です。そういう問題を各方面に訴えようとしてるんですけど、それぞれの当事者団体で「コア」が違いますから。脳外傷の場合は身体は普通でも性格が偏ってしまう、怒りやすくなるとか、物事を一方的に考えて周りと協調できない人が多いみたいですね。

圭作さんは自分の希望はあまり言わないのですか。

言いませんね。フラストレーションがたまるとき、ソーラスを買って発散するぐらいですかね。よその家に行くと勝手にそこらへんを開けてみたり。だから作業所の行き帰り以外は一人で外に出ることもありません。

杉原 近所の人たちは圭作さんをどのように見ているのでしょうか。

板野 よく周囲が温かい目で見守るときがありますが、山の手にはそういうのはないですね。本人たちも「ナナの会」で仲良くつき合っているのは3~4人ぐらいで、他はバラバラです。会に親と来てそのまま帰るという状態です。

杉原 たとえば圭作さんの記憶力を補うために何かされているとか。

板野 自分の行動をメモに取るように勧めてみたんですけど、メモを取ることを忘れてしまう。ボイスメモでもうまくいきませんでした。外から帰ったらお金を数えさせて、何に使ったか思い出させるんですが、そばで励ましながらまとまるまでに1~2時間は

ありますから。脳外傷の場合は身体は普通でも性格が偏ってしまう、怒りやすくなるとか、物事を一方的に考えて周りと協調できない人が多いみたいですね。

杉原 圭作さんは自分の希望はあまり言わないのですか。

言いませんね。フラストレーションがたまるとき、ソーラスを買って発散するぐらいですかね。よその家に行くと勝手にそこらへんを開けてみたり。だから作業所の行き帰り以外は一人で外に出ることもありません。

杉原 近所の人たちは圭作さんをどのように見ているのでしょうか。

板野 よく周囲が温かい目で見守るときがありますが、山の手にはそういうのはないですね。本人たちも「ナナの会」で仲良くつき合っているのは3~4人ぐらいで、他はバラバラです。会に親と来てそのまま帰るという状態です。

杉原 たとえば圭作さんの記憶力を補うために何かされているとか。

板野 自分の行動をメモに取るように勧めてみたんですけど、メモを取ることを忘れてしまう。ボイスメモでもうまくいきませんでした。外から帰ったらお金を数えさせて、何に使ったか思い出させるんですが、そばで励ましながらまとまるまでに1~2時間は

ありますから。脳外傷の場合は身体は普通でも性格が偏ってしまう、怒りやすくなるとか、物事を一方的に考えて周りと協調できない人が多いみたいですね。

杉原 圭作さんは自分の希望はあまり言わないのですか。

言いませんね。フラストレーションがたまるとき、ソーラスを買って発散するぐらいですかね。よその家に行くと勝手にそこらへんを開けてみたり。だから作業所の行き帰り以外は一人で外に出ることもありません。

杉原 近所の人たちは圭作さんをどのように見ているのでしょうか。

板野 よく周囲が温かい目で見守るときがありますが、山の手にはそういうのはないですね。本人たちも「ナナの会」で仲良くつき合っているのは3~4人ぐらいで、他はバラバラです。会に親と来てそのまま帰るという状態です。

杉原 たとえば圭作さんの記憶力を補うために何かされているとか。

板野 自分の行動をメモに取るように勧めてみたんですけど、メモを取ることを忘れてしまう。ボイスメモでもうまくいきませんでした。外から帰ったらお金を数えさせて、何に使ったか思い出させるんですが、そばで励ましながらまとまるまでに1~2時間は

すぐかかります。一日何をやつたかを思い出させる」とも続けています。どんな方法が一番いいのか、手探りしている状態です。

杉原 作業所に通っていることで何か変化されたことはありますか。

板野 うちの場合、知的障害者のための作業所に身体障害者としてはじめ受け入れてもらつたんですね。皆と一緒に出かけても途中で一人だけいないなつちたり、朝出かけたはずなのにまだ来ないと電話があつて、探しで立ち読みしてたりで、とにかくスケジュールに全く乗れてないのが現状です。



杉原 圭作さんは国家資格ではないですが、脳外傷者の評価に加わってもらって、作業療法士、ソーシャルワーカーも含めたチームワークでケアをしていく方向を、私たちもこれからもっと深めていかなければいけないと感じますね。ここらで思いきつて一人暮らしをさせてみることは考えられませんか。

杉原 日常生活は一応こなせるはずなんですね。ですから、それはやってみる価値があると思いますね。

杉原 東京都では一人暮らしの能力を、これは出来る、これは出来ないと評価

(※2) 障害者手帳には身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳があり、障害種別および各々の等級により、福祉制度がことなる。

現行の身体障害者福祉法では、身体障害者手帳の

10年間の生活の仕方を本人とじっくり話し合つて決めていかれるといふと思っています。親離れ、子離れと言いますが、親が子ばなれする方が難しいんで、板野さんの場合、今がちょうどどいい機会なのかもしませんね。

板野 そうですね。それから脳外傷者の評価については、私たちは臨床心理の方も加えて色々な専門職の人の意見を見もつと取り入れてほしいと思っていますけど。

（※3） 東京都心身障害者福祉センターでは、脳血管障害者等の利用が多く身体障害を伴う高次脳機能障害の単独事業である既存の宿泊室制度を利用し、身体障害者手帳が非該当の方の入所による「高次脳機能障害の精密評価」や「単身を含む在宅生活の評価・訓練」「就労評価・訓練」等の支援を始めている。



板野 遵三郎さん

1941年10月30日東京都生まれ。
株式会社ウララネオン代表。
84年3月に長男・圭作さんが交通事故に遭い脳外傷を受ける。
その後、97年の脳外傷友の会「ナナ」設立に参加し、現在東京地区会の世話人として活動している。



■FRIENDSHIPナナ
編集=脳外傷友の会「ナナ」

異文化の中で作業療法を通じて 学んだかけがえのないもの

in 中華人民共和国

作業療法士 小川優美さんの体験リポート

■天安門広場(北京)

People's Republic
of China



おがわ
小川 優美さん

作業療法士。
1973年熊本県生まれ。
2000年7月から2002年7月まで中国に派遣。

理想と現実のギャップ

私は2000年7月～2002年7月の2年間、青年海外協力隊員として中国に派遣されました。派遣前の中国に対するイメージは、「中華料理がおいしい」「綺麗で優しい女性が多い」と楽観的なものでした。

中国語で自分の名前すらうまく発音できずに、不安と希望を抱いて首都北京に到着しました。その年の北京は非常に暑く、食べ物も合わず、下痢に苦しめられました。無秩序な交通ルールで横断歩道を渡れず、勝手に優しい

広大な国土、4000年の歴史、多様な民族と宗教、古代から日本が文化の恩恵を受け続けてきた中国。そんな好イメージだけで飛び込んでいくとしつぶ返しを喰らう。日本とはかけ離れた医療現場に以心伝心では通じないスタッフたち。くじけそうになつたり、怒つたり、大喜びしたり：感情をぶつけ合つて遂にスタッフの全面的な協力を得るにいたつた日中友好の深い流れに触れた小川優美さんの渾身のリポート。

と思い込んだ女性の口調は強く、気づけば随分落ち込んでいました。隊員として作業療法をやりたくて中国に来ているのに、それ以前に生活できそうにない…。地方に赴任したらどうなることやらと不安は増していくました。

私の赴任先は北京から南西約280kmに位置する河北省の省都、石家庄市です。一人だけの任地で、不安がさらに募ります。でも作業療法の仕事はできる! そう思うと今度は希望が



■活動以外で関わっていた女の子。貧しい家庭に生まれ、また障害を持っているため学校にも通えなかった。訓練方法を父親にアドバイスしたら平行棒を作りがんばっていた。



河北省人民医院 リハビリテーションセンター

私が赴任した病院は、河北省立総合病院の敷地内にあるリハビリテーションセンターです。理学療法士3名・作業療法士2名(のちに3名)・言語聴覚士2名がいて、按摩・針灸もあります。中国にはまだ作業療法の資格がなく、当時は短期研修以外の専門教育機関がなかったため、作業療法の多くを医師や看護師などが行なっていました。大病院では海外で研修した人もいて、河北省人民医院もそうでした。このようない所で私の活動が始まりました。

活動、そして摩擦の克服

作業療法士として指導する前に、まず半年間現地スタッフと同じように入院・外来患者の治療を行ないました。そうすることでき問題点や良い所が見えると思いました。また、同じ視点で一緒に計画を立てたいと考えたからです。私が立てる計画は、カルテの作成と実施、評価や治療のアドバイス、勉強会の開催、そして空いている時間を利用しての介護方法などの冊子の作成でした。この

計画の実施に現地スタッフは賛成してくれましたが、中には非協力的なスタッフもいて思うように進みません。ある程度の意思疎通ができる微妙な関係が悪化した時もありました。なにより困ったのは、治療の道具や器具が鍵をかけて大事に保管されていて使えないことです。だったら自分で行動を起こして見てもどうしかないと

街で材料を探して道具を作りまして道具を作りました。また、協力的なスタッフとカルテの作成・実施を行ないました。しかし、一部のスタッフにとって私は、急に仕事を増やす余計な存在だったのかもしれません。ついには知らぬ間に道具



■作業療法室(河北省人民医院リハビリセンター)。頸部損傷の患者さんの治療風景。

活動

仕事以外での活動

隣の山東省に赴任していた診療放射線技師隊員の紹介で、障害児施設に何度か足を運びました。また私立の脳性麻痺児リハビリテーションセンターへも子供達の顔を見に行くようになりました。子供達との関わりは、私の心の安らぎとなりました。

私は「中国で出来ること」を定着させたいと思いましたが、自分の価値観だけで「協力と思い込んでいるもの」を押しつけていたのかもしれません。頭でわかついても、異文化を受け入れていなかつたと感じます。まず相手を受け入れ、自分も受け入れてもらつた状態で一緒に生活する。そんな環境で作業療法と一緒にやる! そう考え始めて行動を起こして見てもどうしかないと



■患者さんとその家族。作業療法の治療を受けなくても、半年に一度ぐらいはこうやって元気な姿を見せにきてくれ、さらに自宅でどんなことをしたら良いのかをたずねにくる。

れていなかつたと感じます。まず相手を受け入れ、自分も受け入れてもらつた状態で一緒に生活する。そんな環境で作業療法と一緒にやる! そう考え始めて行動を起こして見てもどうしかないと

の民間援助団体からの支援を募りました。その結果、両施設とも設備の充実を図ることでき、私も民間国際協力を目の当たりにすることができて良い体験となりました。

中国と日本

中国と日本は昨年国交回復30周年を迎えたが、つらい過去がありました。中国では、あらゆる場所で戦争に対する意見を求められました。

正直言つてうま

く返答できません。いことが多く、そんな自分がとても情けなかつたです。こういうこともあり2年間、中國のことについて学ぶ機会を作れるよう心がけました。休日には広い中国を回り、その土地の人と関わりを持つことに努めました。さうに機会があれば、訪れた土地の病院を見学させて頂きました。中国には、民族・宗教・経済の問題があり、今でも考え方の違いがあります。文句ばかり言つていましたが、今ふりかえるとそれを上まわるよい思い出が残る2年間だったと思えました。

帰国

私は「中国で出来ること」を定着させたいと思いましたが、自分の価値観だけで「協力と思い込んでいるもの」を押しつけていたのかもしれません。頭でわかついても、異文化を受け入れていなかつたと感じます。まず相手を受け入れ、自分も受け入れてもらつた状態で一緒に生活する。そんな環境で作業療法と一緒にやる! そう考え始めて行動を起こして見てもどうしかないと

レッジ・クリエイト

風船バレー ボールで 第一の人生をひらく

石川県作業療法士会の試み



ひがしかわ てつろう
東川 哲朗さん

作業療法士。

1966年石川県生まれ。

1993年より(社)石川県作業療法士会理事。

第5回大会から大会委員長を務める。

専門学校金沢リハビリテーションアカデミーに勤務。

椅子に座りながらの 迫力プレー

石川県立中央病院の広いリハビリ室に速成コートが出来上がる。片面3m四方の小さなコート。ネットを挟んで前後に3脚ずつの折りたたみ椅子が並べられ、そこに障害のある皆さんのが腰かける。風船バレー石川県大会では3年連続優勝(第14回～第16回)に輝く「県中ミニニアムチーム」の選手たちだ。キャブテン役の奥田忠良さんは、病院に勤める作業療法士だ。一般

風船バレー(以下、風船バレー)は、障害を持った方にゲームを通じて生き生きとした第一の人生を送つてもらい、社会参加の機会を提供することを目的とする。リハビリテーションのひとつとして考案された。その発祥地・石川県では、石川県作業療法士会(以下、県士会)が推進役となつて、石川県での風船バレーを発展させた。それを支えているのは、手弁当でガンばる作業療法士たちだ。今回は県士会理事を務めている東川哲朗さんに案内してもらつた。

石川県立中央病院の広いリハビリ室に速成コートが出来上がる。片面3m四方の小さなコート。ネットを挟んで前後に3脚ずつの折りたたみ椅子が並べられ、そこに障害のある皆さんのが腰かける。風船バレー石川県大会では3年連続優勝(第14回～第16回)に輝く「県中ミニニアムチーム」の選手たちだ。キャブテン役の奥田忠良さんは、病院に勤める作業療法士だ。一般

のバレー ボールとのルールの違いは、体のどこを使ってもよく、一人で連續して何回風船に触れてもいい。規定の回数以内で返す必要がないなど。その運動量は健常者でも汗だくなるほどだ。「〇〇さん、打点が低すぎるよ。もうと高い位置で打って!」監督の指示が飛び。風船とはいえ40×25cmのナスピ形のそれは結構かたく、力いっぱいのアタックは怖いほど。それを巧みに2枚ブロックしたり、ブロックアウトを狙つたりする高度な技も大会レベルでは当たり前だとか。



■障害を克服し社会参加する場を提供

まず、風船バレーの誕生の経緯について東川さんに尋ねた。

「風船バレー大会の第一回大会は昭和62年で、ゲームの考案はその数年前、今寺忠造・現県士会会長がそれまで個々に行っていたものを整理して作ったものです。ただでさえ閉じこもりがちになる身体や精神の障害に加えて、北陸の積雪地ということで、



訓練・辺倒ではなく、もっと障害克服の積極的な姿勢を育成できる方法はないかと考えたんですね。退院した患者さんに社会参加の場を提供し、活動を楽しんでもらうにはスポーツを通じた仲間とのふれあいが一番です。心身のパワーが向上すれば、日常生活でも積極的に行動できるようになるんですね」

参加される患者さんは――。

「このチームは脳卒中の人が多いのですが、大会に参加される方には脳損傷、脊髄損傷、神経・筋疾患、慢性関節リウマチ、変性疾患、精神疾患の方もいらっしゃいます。昨年の大会の場合は10歳から97歳までの方が出場されました。ナスビ形の風船を使っているのは、意図的にコントロールできる丸い風船だと、運動能力の高い人に有利になつ

てしまつので、誰もが楽しめる身体機能を向上させられるようにするためです。」

他県での普及はどうなんだろう。

「九州では、障害別に点数をつけてントロールされがちですが、それでも小さな段階では風船を返すだけで勝てるのですが、高レベルのゲームではどんどん競技スポーツに近くなっていますね」

■すべて県士会のボランティア事業

この県士会の結束のかたさは、ボランティア事業



として風船バレー大会を成功させていることからも分かる。以下の課題はなんだろうか。

「風船バレー大会は選手たちにとって年1回晴れる舞台ですが、

冒頭に紹介した「県中ミレニアムチーム」は、秋の県大会4連覇に向けて始動を開始した。練習後、キャプテンの奥田さんにお話を聞いた。

会場を確保する際は、身障者用トイレも完備、車いすの確保、飲食場確保などの条件があつて、1回当たり県士会の持ち出しが50万円位かかります。万に備えて医師・看護師が待機し、トイレでは作業療法士が待機します。それらはすべて県士会と施設の人たちのボランティアなんです。目下作業療法士に一番求められているのが審判能力の向上です。ルールの理解だけでなく、危険プレーを止めたり注意したりす

る能力も要求されてくるんです」

発揮するために、一人ひとりがいかに平常心でやれるか、お互い励まし合いチームワークを発揮していくかということが、実力伯仲する中でますます重要なことがあります。強調しておきたいのは、ヨーロッパ諸国ではすでに障害者だけのスポーツではなく、健常者も含めて参加できる競技スポーツとして認知されていることです。風船バレーにも、ヨーロッパでは勝つことも負けることもあります

が、その過程で学び経験したことを見たことを実生活や仕事の場で生かしていくことがあります。風船バレーをやることにこそ、風船バレーをする意義があるんですね」

「私は脳腫瘍の大手術を経験したんですが、主治医の勧めもあつて10年以上風船バレーをやっています。始めてよかつたなと思うのは、社交的になつたこと、反射神経がよくなつたことなどですね。大会3連覇に慢心せず、去年よりさらに一步前進できるようになると、ガッカリたいです」

最後に西川監督の総括を――。

「風船バレーを行うまでの基本的な技術についてはかなり完成度が上がつて



にしかわ こうじ
西川 拓志さん

作業療法士。
1963年石川県生まれ。

車椅子バスケットボールなどのコーチングでスポーツ作業療法士の確立を目指している。石川県立中央病院勤務。



■石川県立中央病院

SNAPSHOT

NAOMI KURUMISAWA

精神障害者の就労支援は いまどうなっている?

デイケアと企業の間で雇用の現実と向き合う作業療法士

身体障害者や知的障害者の社会参加については徐々に理解がひろがりつつあるが、精神障害者の場合はどうだろう。精神障害そのものが誤解や偏見に囲まれているのが現状ではないか。日本で精神障害者の就労問題への取り組みの先駆けとなった川崎市リハビリテーション医療センターでの試みを、スタッフである作業療法士、棚澤直美さんに紹介してもらった。



今回の取材では、作業療法士が関わる就労前プログラムとして「試し就労」の現場を見学することが出来た。

協力事業所となつている(株)サンエレメントは、車のフィルター工雷メントを製造している会社だ。仕事は主に製品の箱詰め作業だが、日によつて製品の大きさや形が変わるので単一の作業のなかにも柔軟な対応が要求されるといふ。センターからの職員が同伴しての作業だ。職員はまず作業の内容を分析して仕事の流れを組み立て、プログラムの利用者が今後実際の仕事に就く上で何が課題になるかを試していく場面を作り上げていく。

今回の利用者は20代後半と30代半ばの5名の男性。このプログラムでは、10日間(9時から12時の半日作業)1日2名のローテーション勤務でこなしていた。久しぶりに現場での仕事を体験したこの日の利用者は、ミーティングで「働くこと」の満足感を語っていた。

「当社とセンターとの関わりは15年前からです。企業が障害者を採用するよう法律化(注・ただし精神障害者は対象外)されたので、それのつとつて考えました。半日の就労を週4回から始めたんですが、慣れるにしたがって時間を伸ばしていく、5時まで働けるようにと私からも励ましたんです」

精神に障害のある人たちは、働く能力はもついても外から入ってくる情報の処理がうまくいかず、普通の人何倍も気を使いすぎて、特に新規面では疲労しやすかつたり、対人緊張が強かつたりする。これには環境の調整や働き方を工夫するなど、受け入れ側の事業所の理解が欠かせない。したがつて当事者と事業所の双方を支援できる専門職の存在が非常に重要になってくるわけだ。

就労相談から職場定着まで 支援する

棚澤さんへのインタビューを以下にまとめた。

「当センターは2000年4月に大きな構造改革を実施し、就労支援センターを立ち上げました。看護職1、心理職1、福祉職4の6名のスタッフと1名の担当医と活動しています。就労支援に関して、作業療法士は多職種の中でも職業リハビリテーションに有用

「試し就労」でまず仕事を体験

川崎市リハビリテーション医療センターアー(以下センター)では、1971年の開設以来、精神障害のある人への就労支援をさまざまな形で実施してきた。

今回の取材では、作業療法士が関わる就労前プログラムとして「試し就労」の現場を見学することが出来た。

協力事業所となつている(株)サンエレ

メントは、車のフィルター工雷メントを

製造している会社だ。仕事は主に製品

の箱詰め作業だが、日によつて製品の

大きさや形が変わるので単一の作業の

なかにも柔軟な対応が要求されると

いう。センターからの職員が同伴して

の作業だ。職員はまず作業の内容を分

析して仕事の流れを組み立て、プログラ

ムの利用者が今後実際の仕事に就く上で何が課題になるかを試してい

ける場面を作り上げていく。

今回の利用者は20代後半と30代半

ばの5名の男性。このプログラムでは、

10日間(9時から12時の半日作業)1

日2名のローテーション勤務でこな

していた。久しぶりに現場での仕事を体

験したこの日の利用者は、ミーティングで「働くこと」の満足感を語っていた。

周囲の理解と働き方の工夫が大事

石村正社長に経緯を尋ねた。

「当社とセンターとの関わりは14

年からです。企業が障害者を採用

するよう法律化(注・ただし精神障害

者は対象外)されたので、それのつと

つて考えました。半日の就労を週4回

から始めたんですが、慣れるにしたが

つて時間を伸ばしていく、5時まで働

けるようにと私からも励ましたんです」

精神に障害のある人たちは、働く能

力はもついても外から入ってくる情

報の処理がうまくいかず、普通の人の

何倍も気を使いすぎて、特に新規

面では疲労しやすかつたり、対人緊張

が強かつたりする。これには環境の調

整や働き方を工夫するなど、受け入れ

側の事業所の理解が欠かせない。した

がつて当事者と事業所の双方を支援で

きる専門職の存在が非常に重要になっ

てくるわけだ。





■川崎市リハビリテーション医療センター

実際の現場で仕事を体験し、就労することで現実に起こっている問題を当事者に検討してもらうというものです。センターでは期間限定・職員同伴・有給・請負型のグ

櫻澤 直美さん

作業療法士。

福岡県出身。

1981年都立府中リハビリテーション専門学校卒。同年~川崎市リハビリテーション医療センターに勤務。就労支援に携わって今年で5年目。



な視点をもつている職種だと自負しています。環境や仕事を分析し、当事者のもつ力を引き出し見きわめ、次に何が必要になってくるのかを組み立てていきます。

精神に障害をもつ人は、たとえ働きたい意欲はあっても「自分に合う仕事が分からぬ」「働ける自信がない」といった悩みをかかえています。私たちはここで、就労相談から職場定着までの一貫した就労支援活動を行っています。

今回見ていただいた『試し就労』は、



当事者と企業をつなぐ架け橋に
「私たちの仕事は、当事者と企業をつなぐ架け橋の役割とい

ループ就労の4つの条件を満たす場が有効であるとの結論に達し、条件にあつた場の開拓に努めています」

必要な期間継続する定着支援

「サンエレメントさんは、10年以上働いている人への『職場定着支援』も行っています。特に環境の変化や極端にストレスを強く感じる方が多いので、職場の人事異動で上司が変わるとか、仕事内容が変化するなどといった時は手厚く関わります。また、定期的に事業所を訪問し日頃から事業所側への支援を行うことも欠かせない役割のひとつです。しかし、この分野での就労への取り組みはまだまだ確立されているとは言いがたい状況です。職場定着には、このような就労支援は必要ですが、まだ少ないので現状です。

就労支援のこういったプログラムは全部オーダーメードです。試し就労でその人の仕事への適性や、精神面・体力面の回復を確認し、ハローワークに同伴しその人に合う仕事を選び、実際の職場と仕事の体験を通じて適応を促していきます。主人公はあくまで当事者なので、私たちは彼らが安心してより良い選択が出来るよう支援を心がけています」

人が他人と接するとき、知人が否かに関わらず、当人の中に起る感情の一状態。対人緊張は、誰でも持っている心の働きであり、通常、初対面の人に対してもときや、自分が心細く感じているときなどは強くなる。あまり強すぎると、会話ができない、周りがみえないなどの状態に陥り、対人関係を円滑に結べないこともある。あまり常時強いままであると当人は疲労してしまいます。

(※1) 対人緊張



■今回ご協力いただいた
(株)サンエレメント 石村正社長



【ピティー(へら型)】

先端にシリコンを使用し、口当たりもよく、食事介助の際スムーズに口の中に入れることができます。ヨーグルトやとろみ食なども中身をきれいにすくうことができます。

食事介助が必要な高齢者や赤ちゃんにも対応できます。

定価¥650

■お問い合わせ

製造販売元:有限会社 片山商事
☎.0256-63-9551

pitty



- 柔らかい口あたり
- 口に運びやすい形状

思わず使って みたくなる、 快適生活を 支援する用具たち

今回のテーマは「食べる」です。ふだん何気なくできていることが、年をとったり障害をもつことで困難なものに変わる場合があります。お年寄りや障害をもつ方々の生活を支援するアイデアいっぱいの福祉用具には、開発した人々のひらめきとなにより愛情がこもっています。ここでは、だれでも思わず使ってみたくなる、そんな便利グッズを選んでみました。

いっぱいの福祉用具



- すくいと柄の正面の角度



【箸藏くん 付け替えタイプ(ナチュラル)】

自然に手にフィットしますので、細かい指先の動作ができない方や力が弱い方でも簡単に箸で食べることができます。左右兼用なので、使いやすい方の手を選ぶことができます。また、噛んだりして痛みやすい箸先が簡単に交換できます。交換用箸先5膳付きです。

定価¥2,500

■お問い合わせ
製造元:ウインド~風~
☎.0743-75-3887

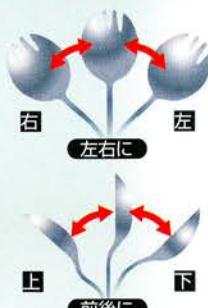
【らくらくシリーズ(木製丸型・先割れスプーン】

先首の部分が自在に何回でも曲げ伸ばしができ、使う人に合わせて繰り返し調整できます。手の動きが制限され、口まで上手くスプーンをもっていきにくい方などに。先はスプーン、フォーク、イラストの先割れ型の三種でそれぞれ大小あります。柄も数種類あり、イラストの木製丸型の柄には付属のスponジグリップをはめると、握る力が弱い方には持ちやすくできます。

定価¥2,200

■お問い合わせ

販売元:有限会社 片力商事
☎.0256-63-9551



金属部分が18-8ステンレス(SUS304)のため、曲げてもカンタンに折れません。



生活支援 の アイデア

【TASTE グリップタイプ】

作業療法士と工業デザイナーが共同開発した、食事が楽しめるスプーンとフォークです。柄を曲げて指をかけやすくし長さも箸に相当するため、持ちやすさ、軽さ、切り分けやすさ・すくいやさ、口へのとりこみやすさなどの点で大変優れています。スプーンはすくいが浅いため食べ物が残りにくく、フォークは末細りの切りこみにより麺類を楽にかけられます。慢性関節リウマチ、頸髄損傷の方などに適しています。柄の真っ直ぐなフラットタイプもあります。

セット価格¥2,500 (フラットタイプセット価格 ¥2,000)

■お問い合わせ

販売元:ケアプラス
☎.0761-22-0531



【ヘルバースプーン】

すくいが浅めでイラストのような角度がついて、横から介助しても柄の部分が顔に当たりにくくなっています。対面介助にも使いやすい。赤ちゃん・口を開けにくい方にはminiを。大は一般的のスープスプーンよりやや小ぶりです。

定価¥450 (大)、¥250 (mini)

■お問い合わせ

製造販売元:有限会社 片力商事
☎.0256-63-9551



片手でやってみよう

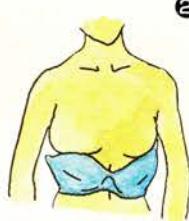
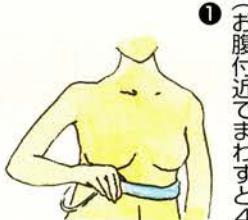
5

どうやって？とめるの

■右の図のように、片手でブラジャーのホックをとめようとしても、もう片方の受ける側が逃げてしまい、うまくできません。どうすればブラジャーをとめられるのでしょうか？

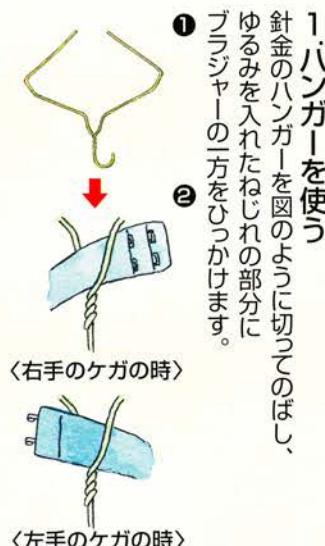


ここからチャレンジ！さあ、やってみよう！



- ① ブラジャーをまわす
- ② ホックをとめる
- ③ ブラジャーをまわす
(お腹付近でまわすと4の動作が行ないやすくなります。)

- ① で準備したハンガーを首にかけて、前方でホックをとめる。とめた後、首やブラジャーからハンガーを抜きます。
- ②



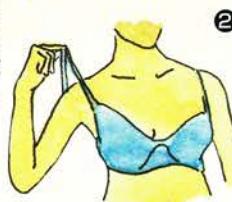
その他にもこんな方法が…



- ①
 - ② <両方の肩ひもに腕を通してかぶります>
- 片手でとめやすいホックやスポーツタイプ（図）のブラジャーを利用する。
◎両腕を通してかぶる方法



5. カップを整えできあがり



- ① ケガをしている方の側の肩にストラップをかけた後、もう一方の肩にもストラップをかけます。
- ②

ケガで片手しか使えない時、困った経験はありませんか？そんな時のちょっととしたアイデアを紹介します。

毎日の生活にかかせないブラジャーの装着。あなたなら片手でどのようにとめますか？



パンフレットのご案内

OCCUPATIONAL THERAPISTS 作業療法ガイド



私たちと共にあゆみましょう。

日本作業療法士協会
作業療法士(OT)は、あなたにあった福祉用具や住宅改修を提案します。

■お申し込み
日本作業療法士協会(事務局)
☎03-5826-7871

「協会パンフレットをご活用ください。」

パンフレットは写真の「作業療法士ガイド」「作業療法ガイドミニ版」「くらしを支援する作業療法」「訪問リハビリテーション作業療法(OT)のご案内」「作業療法士(OT)は、あなたにあった福祉用具や住宅改修を提案します。」の5種類があります。作業療法の啓蒙活動にご活用ください。お申し込みは協会事務局まで。今後も順次、種類を増やしてまいります。



OCCUPATIONAL THERAPISTS 作業療法ガイド



私たちと共にあゆみましょう。

3
2007年Opera
オペラ4
2008年Opera
オペラ

■日本作業療法士協会
広報誌「Opera」3号、4号

医療・福祉・保健サービスの向上を目指して

(社)日本作業療法士協会は、国家資格である作業療法士からなる職能団体で、昭和41年9月に結成されました。昭和47年に世界作業療法士連盟(WFOT)に加入し、昭和56年には厚生省より公益法人として認可されました。

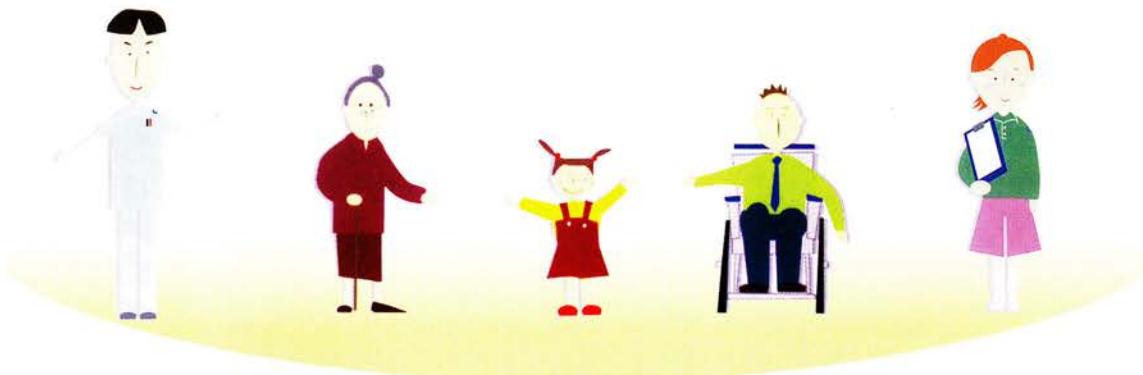
当協会は、作業療法士の学術研鑽ならびに人格資質の向上に努めながら、作業療法の普及・発展を図るとともに、医療と福祉の向上、国民の健康の発展に寄与することを目的としています。

作業療法士は乳幼児から高齢の方にいたるまですべての人々で、身体または精神に障害がある方や将来、障害が予想される方に、医療ばかりでなく、福祉・保健領域にわたり幅広いサービスを提供いたします。作業療法は、作業活動を用いて身体・精神の諸機能の回復や維持・開発を行うための、治療・訓練・指導および援助です。作業療法の活動の場は、病院から地域、医療から福祉の場へと大きく拡がっています。高齢の方々や障害者の方々に合った福祉用具の選定や適合、各種の福祉サービスの紹介などを含めたライフプランニングを行い、ご本人やそのご家族がよりよい生活をするためのコーディネートも行います。

また、青年海外協力隊派遣を積極的に行い、発展途上国の医療・福祉の発展に貢献するとともに、各種障害者団体の活動を支援しています。

こころ豊かに生き生きと

作業療法って、ご存知ですか？



作業療法(Occupational Therapy=OT)

「作業=Occupation」は生きていくための必要な条件としてとらえられ、長く使われてきた言葉です。「何かをしている、何かをして時間を占める」ということを意味しています。生きていくための必要な条件としての行為とは、労働、日常生活上の行為だけでなく、趣味、遊び、創造活動など、人が人として生きていくために行うあらゆる活動を指します。それら全てが作業療法の治療手段であり、達成目標となる「作業」です。

これにちなみ、OT協会広報誌は、ラテン語で「作業」を意味するOperaと名づけました。明るい語源にふさわしく、作業療法に関する面白くてためになる読み物・インタビューによる親しみやすい紙面づくりを目指しています。

JAPAN 社団法人
日本作業療法士協会
JAPANESE ASSOCIATION OF OCCUPATIONAL THERAPISTS

事務局／東京都台東区寿1-5-9 盛光伸光ビル
TEL:03(5826)7871 FAX:03(5826)7872
ホームページアドレス <http://www.jaot.or.jp>